

科目名	人文学講読演習Ⅱ 8-2					単位	2.0
担当教員	渡邊 幸彦						
授業形態	演習	開講期間	後期	配当年次	2	授業番号	4218

●授業のテーマ
司馬遷と史記

●到達目標
漢文訓読の方法を理解し、自力で原書に訓点等を附して読解することができるようになる。

●学習内容(授業概要)

中国古代・漢の時代に司馬遷によって書き上げられた中国最初の歴史書『史記』は、その先進性により「正史」(二十四史)の第一に位置づけられるばかりでなく、同時にその文学性においても高く評価されることとなっている。

授業では、中国文学講読演習Ⅰに引き続き、『史記』の中より一篇選んで精読する。秦の始皇帝亡き後の混乱から生まれた特徴ある人物の列伝を一篇取り上げ、司馬遷がどういう視点で描いているか、細かいところまで読みとってみたい。

語法上の特色を意識しつつ、じっくり読み味わうことを目標とするので、受講者は毎回綿密な準備をして臨むように。

●学習内容(授業計画)

1. ガイダンス
2. 『史記』の特徴と背景
3. 楚漢時代とは
4. 漢文訓読の方法
5. 『史記』「淮陰侯列伝」講読
6. 『史記』「淮陰侯列伝」講読(継続)
7. 『史記』「淮陰侯列伝」講読(継続)
8. 『史記』「淮陰侯列伝」講読(継続)
9. 『史記』「淮陰侯列伝」講読(継続)
10. 『史記』「淮陰侯列伝」講読(継続)
11. 『史記』「淮陰侯列伝」講読(継続)
12. 関連する他の列伝を選読
13. 関連する他の列伝を選読(継続)
14. 関連する他の列伝を選読(継続)
15. まとめ

●準備学習・事後学習の内容

事前に中国史に関する基礎知識を調べておくこと。(発表担当者は入念な予習をして授業に臨むこと。)事後は、授業時に読んだテキストの内容をしっかりと復習して読解法についての知識を深めておくこと。

●成績評価方法・基準

平常点5割、レポート試験5割

●テキスト（必携）
授業時に配布

●参考文献／その他
漢和辞典

●履修上の注意
受講者には分担して発表を担当してもらう。